

StudyaidDB 徹底活用術

～「ガイダンス」を活用して、統計機能を使いこなそう！～

データの活用分野の授業プリントを作成するときには、ヒストグラムや箱ひげ図など、様々なグラフや表を作成する必要があるかと思います。今回は、これらのグラフや表を簡単に作成できる、統計機能の使い方について一例をご紹介します。

そもそも統計機能とは？

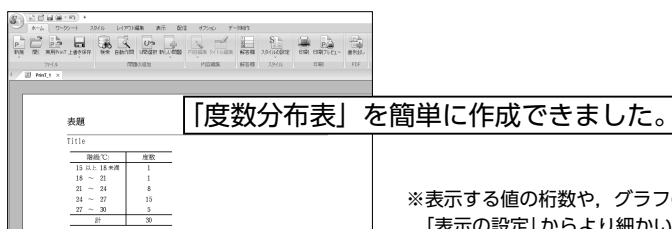
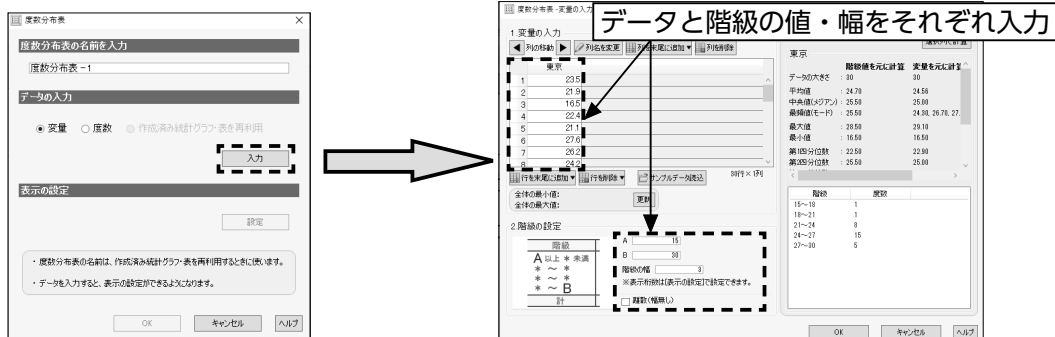
プリント作成システムに搭載されている統計機能では、データを入力するだけで簡単にグラフや表を作成することができます。

●使い方●

内容編集集中に表示される「文章」タブ内の  ボタンをクリックすると、グラフや表を選択できるウィンドウが表示されるので、作成したいものを選んでクリックします。



次に、データの入力の  ボタンをクリックし、表示される表にデータを入力します。その後、必要に応じて、階級の値や幅の設定をし、OK をクリックするとグラフや表が仕上がります。



※表示する値の桁数や、グラフの目盛り線などについて、「表示の設定」からより細かい設定をすることもできます。

「ガイドンス」活用法 ①：代表値の出力

統計機能で作成したグラフや表を選択すると「ガイドンス」が表示されます。「ガイドンス」の中にある「代表値などの出力」をクリックすると、その表やグラフのデータの代表値を出力できます。問題作成時など、代表値を算出したいときに便利な機能です。

The 'Guidance' menu on the left shows the 'Output of Representative Values' option highlighted. The dialog box on the right allows selecting a calculation method (e.g., 'Use original data') and a target (e.g., 'Average'). A list of data points is shown below, with a 'Copy' button at the bottom.

計算方法や対象を選択し、OK をクリックします。(計算に使用する値は、元のデータや階級値などから選択できます。)

使用したい値を選択して、コピー をクリックすると、値をコピーすることができます。

「ガイドンス」活用法 ②：同じデータを使ったグラフや表の作成

グラフや表を選択して表示される「ガイドンス」から、選択したものと同じデータを使った別の種類のグラフや表を簡単に作成することができます。教科書や問題集の問題データを使って、他の問題を作成するときに便利な機能です。

The 'Guidance' menu on the left shows the 'Histogram' option highlighted. The dialog box on the right shows a table of data and a histogram. A 'Copy' button is visible at the bottom.

作りたいグラフや表を選択すると、同じデータをもとに別の種類のグラフや表を作成することができます。

「度数分布表」から「ヒストグラム」を簡単に作成できました。

※階級を設定したグラフや表から「箱ひげ図」を作成する場合、「データの入力」> 2. 階級の設定にある「階級を設定する」のチェックを外すことで、変量をもとにした箱ひげ図を作成できます。

いかがでしたでしょうか？グラフや表を作成するのに手間がかかるデータの活用分野のプリント作成には、今回ご紹介した内容をお役立ていただけるのではないのでしょうか。ぜひお試しください。